

平成28年度第2回さぬき市図書館協議会 会議要旨

- 1 日 時 平成29年2月20日（月） 13:30～15:30
- 2 場 所 さぬき市教育委員会2階第5・6会議室
- 3 出席者 【委員】有岡 融代 石川 智治 井上 綾子  
岡田 保 木村 利夫 西尾 由香  
森 幹男 山田眞粧美  
【事務局】安藤教育長 間嶋生涯学習課長  
長谷川館長（志度） 射場館長（寒川）  
堀口副主幹 伊関係長 大山主任主事
- 欠席者 池田 洋子
- 傍聴者 無し
- 4 議 題 (1) 平成28年度さぬき市図書館事業中間報告について  
(2) 平成29年度さぬき市図書館事業計画（案）について  
(3) その他

5 会議の内容

発言者	意見概要
(事務局)	(会議の公開等の取扱いについて説明した。)
(委員)	(公開することです承された。)
(事務局)	本日の傍聴は、ありません。では、平成28年度第2回さぬき市図書館協議会を開会します。 ここで、先日、岩田委員さんが御逝去されたので、黙とうを捧げます。
(全員)	(黙とう)
(事務局)	池田委員長から体調不良により欠席との連絡があったので、岡田副委員長に挨拶をお願いします。
(副委員長)	(副委員長挨拶)
(教育長)	(教育長挨拶)
(事務局)	では、議事に移ります。さぬき市図書館規則第2条第2項により、進行は、副委員長をお願いします。
(副委員長)	平成28年度さぬき市図書館事業中間報告について、事務局は、説明してください。
(事務局)	(議題(1)のさぬき市図書館事業中間報告について説明した。)
(委員)	(2)の③月別貸出冊数ですが、寒川に比べて志度が大きく減少しています。これは、若年層の来館者が減ったというだけですか。
(事務局)	昨年度と比べて、夏休みや冬休みの期間の来館者の落ち込みが激しかったので、児童数の減少と夏休み、冬休みの期間の短縮が原因ではないかと思えます。

(委 員)	夏休みや冬休みの期間や児童数の減少の影響が、この貸出冊数の数字に出ているということですね。
(事務局)	図書館職員の体感では、夏休みは多くの入館者があった感じがしたのですが、お盆を過ぎたときから急に来なくなったので、宿題の提出が終わったからではないかと思えます。宿題の提出日が早くなったのも原因の一つではないかと思えます。
(委 員)	本も、スマートフォンなどで見られるようになり、本離れが進んできていると感じます。
(事務局)	そのほか、幼児を持つ家庭は、家族でカードを作っているのですが、一度にたくさんの絵本を借りていくのですが、そのような家庭も少なくなっているように思います。
(委 員)	そういうことも影響しているのですね。
(事務局)	夏休みが減り、児童も一緒に付いて来る親や祖父母も来館しなくなります。子や孫を連れてきたついでに本を借りるということもなくなるという影響が出てきているのではないかと思います。
(委 員)	利用状況などのデータを出していますが、事務局としての総評を資料に記載すると良いと思えます。例えば、先ほど事務局が述べた利用者減少の理由等をあらかじめ資料に書いておくと分かりやすいと思えます。
(副委員長)	データの資料だけではなく、コメントを書いた方が良いということですね。
(委 員)	こうなった理由・原因などを入れておくと、今後について考察しやすいと思えました。
(事務局)	利用状況の末尾に、事務局としての総評を記載することについて、検討します。
(委 員)	時々図書館を訪れて感じるのは、図書館の職員数が少ない気がします。仕事も大変そうで、余裕がないように見えます。
(事務局)	心から笑顔で真摯にお客さんに接することが大事だと思っています。ものすごく忙しくてできないということはないですが、心に余裕を持てるような人数までは足りていません。今できる人材で精一杯努力しているつもりです。
(委 員)	「今年度ではこのような新刊図書を購入した」というお知らせをしてはどうですか。また、作品の募集など、さぬき市発信の全国に向けたイベント企画を考えてはどうかと思えます。予算が厳しそうで、できるかどうか分かりませんが、発信することが重要だと思えます。また、志度・寒川以外の公民館図書室への図書の購入は、図書館では行っていないのですか。
(事務局)	図書の購入は、志度で約300万円、寒川で約100万円の予算を組んでいます。新刊図書は、出版業者との兼ね合いもあり、開架を遅らせています。また、新刊が出たときは、各図書館で学校や関係機関に「図書館だより」を送り、通知しています。
(事務局)	図書館が図書を購入し、公民館図書室に置くことはしていません。毎年、蔵書に新しいものを入れると廃棄するものも発生するので、公民館に対し、必要な物があれば図書を出すことがあります。

(委 員)	公民館の貸出数や入館者数は、このデータには含まれてないですね。
(事務局)	含んでいません。
(委 員)	大川公民館の図書室は、寒川図書館から譲り受けた図書ですが、寒川図書館よりも蔵書数が多いと思います。
(委 員)	平成28年度さぬき市図書館運営状況のその他について、「市内小学生を対象に、学校を通じて図書館カード登録の申込み案内及びカード配布」とあるのは、効果はどれくらい出ていますか。また、②年齢別新規登録者数の中の「13歳～15歳」の新規が非常に少なくなっています。その状況については、どのように考えていますか。
(事務局)	学校の協力を得て、市内の小学校の新入生に対し、申込案内を配布していますが、このことにより、図書館のない地区でも図書館があるということを知ってもらうことも目的の一つとしています。実施する前より、利用者数は増えたと考えています。
(委 員)	「市内の小学生を対象に」と書かれているのですが、中学生に対しては考えていませんか。中学生の新規が少ないのですが。
(事務局)	1度登録すると、カードは高齢者になってもずっと使えるので、中学校入学時に改めて案内することは、今のところ考えていません。
(副委員長)	他に意見がないようなので、平成29年度さぬき市図書館事業計画(案)について、説明してください。
(事務局)	(議題(2)平成29年度さぬき市図書館管理運営方針及び事業計画について説明した。)
(委 員)	図書館の来年度予算である32,315千円は、市予算の何%になりますか。また、東かがわ市やさぬき市と同規模の坂出市では、どのくらいの予算を組んでいますか。
(事務局)	3月議会で提案する市の予算の一般会計ベースでは、図書館の予算は、約0.12%です。
(委 員)	他の市の状況は、把握していますか。
(事務局)	年度当初に蔵書などのデータが出て、確認はしています。図書館職員の人数は他市と比べて少なく、予算も多いとは言えません。今後、研究していきたいと思います。
(委 員)	他市と比べて最下位レベルということですか。
(教育長)	下の方ではないかと思われます。
(委 員)	予算は、このような文化的なものから削られていくと思いますが、文化というものは、とても大事なものだと思います。また、図書館は直営か委託かという話が聞こえてきます。全国で見ると、運営が委託されている図書館が増えてきていますが、その土地の文化的、歴史的なものを考えると、直営が一番良いという意見が様々な所から出ています。私は、職員の数と、もう少し図書館の予算を増やしてほしいと思います。
(教育長)	この6年間くらいは、学校の建築など学校教育に係る予算が特に重点的に取り入れ

	<p>られています。そのことで、その他の予算が制限されていることもあるかもしれませんが。委員さんの指摘のとおり、地域の文化度を上げるのは、図書館であるとよく言われています。平成6～8年の調査では、県内で図書館と呼べるのは10館くらいしかありませんでした。図書館がなければ文化度の向上はありませんので、学校予算が一段落すれば、予算も考慮できるのではないかと思います。</p>
(副委員長)	<p>限られた予算の中でハード面、ソフト面をどうしていくのか悩みどころだと思います。学校に関することでは、28年度から、学校図書館活動支援員が学校図書館に毎日来てくれるようになりました。それによって、生徒とのふれあひもでき、学校図書館を利用する割合も増えています。また、学校図書館活動支援員が市図書館に行った際に、必要な本を図書館司書に調べてもらったりしています。地道なことですが、生徒が図書に対する関心が高まることを期待しています。</p>
(事務局)	<p>そのことに関連し、資料の会議関係の中に「さぬき市学校図書館活動支援員研修会」とあります。教育委員会の主催により、図書館司書と学校図書館活動支援員のための研修を行い、学校と図書館の連携を図ることができたと思います。来年度も何らかの研修をしたいと思います。</p>
(委員)	<p>学校図書館が充実したから、図書館の人数が減ったということではないですか。</p>
(副委員長)	<p>それはないと思います。</p>
(委員)	<p>多少は関係があると思ったのですが。</p>
(副委員長)	<p>学校図書館でも予算を確保し、新しい図書を購入しており、図書館に行かなくても本があるということもあるかもしれませんが、学校施設内にある学校図書館に対し、校区外の市立図書館に行くには、親等が連れて行かなければならないということが大きい要因ではないかと思います。</p>
(委員)	<p>支援員が学校に来るのは、昼間だけですか。</p>
(副委員長)	<p>10時から3時まで、3時間目から昼休みの時間を過ぎるまでくらいまでです。</p>
(委員)	<p>なぜ学校の先生が学校図書館の運営を行わないのかと思ったので。</p>
(副委員長)	<p>生徒が学校図書館に本を借りに行くときは担任もついて行くが、休み時間にはついて行かないので、支援員が、生徒の必要とする本が学校図書館にあるかどうかを調べたりしています。当然、担任は読書記録を付けていますが、読書に関する担任の仕事のサポートを支援員が担っています。</p>
(事務局)	<p>支援員がとても熱心で、学校図書館のレベルが上がっているのを感じています。実際に、各学校に配布している図書館の「図書館だより」よりも、むしろ支援員が作る図書館だよりが充実していると思います。図書館としては、支援員とどう結びついていくかというのが課題の一つであると思います。</p>
(教育長)	<p>子どもたちは、身近な所に本があり、それを読むということで活動が始まると思っています。志度と寒川にしか図書館がないので、小学生は、自分だけで校区を越えて行くことはできないので、保護者とともに行かなければなりません。津田・大川・長尾については、学校図書館を充実させていく必要があると思います。図書館は全世代</p>

	<p>を対象としますが、学校図書館は子どもだけを焦点に対応できるので、その点では充実が図れるのではないかと考えています。また、小学生が現在1学年に400～500人程度いますが、これが4歳、5歳では、200～300人です。今年度の0歳児は、1月末で239人いますが、現在の小学生と比べると大きく減少しています。そう考えると、データの「年齢別貸出利用者数」は、一人当たり何冊借りているかにしなければ、現在と比べても絶対数が減っているので本当の利用状況が分かりづらいのではないかと思います。社会や子どもの状況が変わってきており、思案しているところです。また、なぜ学校の教員が学校図書館運営を行わないかについては、学校図書館活動支援員が置く前は図書担当の教員がいましたが、図書だけの仕事をするわけではないため、学校図書館を離れなければいけないこともあり、管理上問題もあることや、子どものためにも、専門的な知識を持った人材の方が良いのではないかとことから、文科省が支援員制度を作り、全国的に広がったものです。</p>
(委員)	<p>おはなし会を毎月開催していますが、その広報の仕方について要望したいです。市広報の図書館だよりの欄に開催日を掲載するだけでは、読者のモチベーションが上がらないと思うので、対象年齢やテーマを書くなど、利用者が参加しようと思わせるような工夫が必要だと思います。</p>
(事務局)	<p>集客に苦労しているので、意見を参考にしたいと思います。利用者から「何歳までが対象か」との質問も多く、図書館内や児童館貸出の際に、ポスター等で周知をしたりしています。おはなし会を開催されるボランティアにも応えなければなりません。</p>
(委員)	<p>市広報でのおはなし会のお知らせにインパクトがないので、工夫すれば良いと思います。</p>
(事務局)	<p>確かに遠慮しているところがあったかもしれません。</p>
(委員)	<p>図書費とは、図書を購入するための予算ですか。</p>
(事務局)	<p>そのとおりです。</p>
(委員)	<p>購入する本は、どのように決定していますか。利用者にアンケートを取り、それを参考にしていますか。</p>
(事務局)	<p>それもあります。選書は、利用者のリクエストや意見を聞きながら、図書館蔵書基準に基づいて図書館職員が選んでいます。</p>
(委員)	<p>昔でいう「人名・地名」の辞典のような図書は、最近ではインターネットですぐに検索できるようになっていることから、そのようなものではなく、利用者が必要とするもの、欲しがるようなものに絞り込んで選定してはどうですか。</p>
(事務局)	<p>志度と寒川では、予算額や職員の数が異なるため、選定の仕方も違いますが、図書館蔵書基準によると、県立図書館や大学図書館では専門的な図書を備え、市町の図書館では入門的なものや、その時の話題のものを備えるとあり、それに沿って図書館の一般書担当、児童書担当、医療担当等の司書と相談の上、毎月選書しています。また、司書が最も利用者と触れ合える者なので、その司書が、本を選ぶ仕組みです。</p>
(副委員長)	<p>図書館利用者のニーズに少しでも合うように取り組んでいるんですね。</p>

(委 員)	最近、文科省の小学校の指導要領の改訂があり、英語が教科化され、時代の変化を感じます。図書館も、その変化が求められていると思います。書籍やAVでも、そのようなものに考慮して、具体的に予算を立てると良いと思います。
(委 員)	保護者としては、家の近くに図書館があれば、利用すると思います。このことから、学校図書館を多く利用します。学校図書館で事足りているので、図書館が校区外にある生徒からは「図書館に行こうか」という声あまり聞こえてきません。また、年齢が高くなるにつれ、タブレットによって本や漫画を読むことができるので、本から離れていきます。図書館では、読みたい本、特に新刊が手に入らないことが、図書館離れを起こしていると思います。読書通帳の取組やイベント等の実施は、保護者として本当にありがたいですが、現状は、そのような感じです。もっと市民に「図書館を利用してください」というのを発信する必要があると思います。
(委 員)	私は中学校の教員ですが、市図書館と協力しながら、相互関係によって子どもの読書活動が高められたら良いと思います。中学校が行っていることの一つは、「読書通帳」が挙げられます。市図書館から配布がありましたが、通帳が足りなくなるくらいでした。学校では、「朝読書」を行っており、これと関連して読書通帳を使用しました。また、市図書館から届く「図書館に行こう！新刊はこんな本」は、中学校でコーナーを設けて掲載しており、選書にも役立っています。学校図書館活動支援員は、学校図書館に関して重要な役割を担っています。市図書館が開催した「さぬき市学校図書館支援員研修会」は、支援員のレベルを上げるのに非常に良かったです。
(副委員長)	他に意見がないようなので、その他について、説明してください。
(事務局)	(議題(3)その他について説明した。)
(委 員)	高梁市図書館について、さぬき市も調査研究すればどうですか。
(委 員)	見た目は良いですが、内容は良くないと聞きました。
(委 員)	時代の流れというものもあるので、良いものは残し、新しくすべきものは新しくしていかなければならないと思います。
(委 員)	分類別蔵書数・貸出冊数について、平成29年度に購入した蔵書の欄を設け、分類別に冊数を記載してほしいです。また、さぬき市図書館事業計画(案)について、平成29年度が終わったときに、この表に成果を付け足すようにすれば、分かりやすく、良いと思います。
(事務局)	事業に対する成果と課題を記載したいと思います。
(副委員長)	他になければ以上で終わります。事務局に進行を返します。
(事務局)	各組織の代表として就任されている委員のうち、年度替わりにより、この協議会の委員に変更が生じた場合は、決定後速やかに事務局まで御一報ください。
(課 長)	(生涯学習課長挨拶)
(副委員長)	以上で、平成28年度第2回図書館協議会を終了します。

